

口腔顔面痛診断実習セミナー2017

平成29年9月19日

主催:日本口腔顔面痛学会

担当:セミナー企画運営委員会

非歯原性歯痛の主な原疾患である筋・筋膜性疼痛、神経障害性疼痛の診断に必須となる筋触診、知覚検査法、鑑別診断法などを実習で習得してもらうハンズオン&グループワークのコースです。

【目的】

口腔顔面痛の診療に必要な診査、診断の知識や手技を、非歯原性歯痛の診査実習と臨床診断推論実習を通して習得する。

【会期】 2017年11月5日(日)9:45-16:25

【会場】 慶應義塾大学病院 2号館 11階大会議室

【募集人数】 36名の予定 (6名×6グループを予定)

【受講料】 12,000円 (お弁当と飲み物はこちらで用意いたします。)

【受講資格】

日本口腔顔面痛学会会員に限ります。初めて受講する方は、本学会主催の口腔顔面痛ベーシックセミナーを修了していることを推奨します。

【認定単位】

- ・日本口腔顔面痛学会認定医、専門医等の申請要件および資格更新の単位付与の対象です。
(認定医および専門医の申請要件の受講を要する講習の「診断セミナー」に該当します。)
- ・受講修了証明はすべてのプログラムを受講された方に対し認められます。
(遅刻・早退により一部受講されなかった場合は修了となりません。)
- ・日本歯科医師会の生涯研修単位も認定されます。

【申し込み方法】

平成28年10月16日(月)までに日本口腔顔面痛学会事務局(担当:杉崎)までメールでご連絡下さい。メールの受け取り後、ご案内メールをします。

メールアドレス:jsop-service@onebridge.co.jp

事前受付は、振り込み制となり、振り込み確認後、受付完了となります。実習の準備のため当日申し込みは受け付けません。申し込み期間内であっても定員に達し、受講できない場合がございます。納付された受講料は原則としてお返しいたしません。

(5日経過後(土日祭日を除く)もご案内メールが届かない時は再度メール頂くか、一ツ橋印刷株式会社学会事務センター内、日本口腔顔面痛学会事務局 担当:杉崎 TEL: 03-5620-1953までご連絡下さい。)

【プログラム予定(講義相当時間合計 6 時間 00 分)】

9:15 受付開始

9:45-9:55 セミナー開始、講師紹介、プログラム解説(講義:村岡渡)

9:55-10:05 プレテスト

10:05-10:20 臨床診断推論による症例鑑別診断の進め方(講義:和嶋浩一)

10:25-10:30 臨床診断推論のための症例①提示(講義:村岡渡、和嶋浩一)

10:35-10:50 筋・筋膜性疼痛診査法(講義:小見山道または原節宏)

10:50-11:20 筋・筋膜性疼痛診査法実習 咬筋、側頭筋の触診法(実習*)

11:20-11:30 質疑応答

11:30-12:40 症例①での臨床診断推論実習(インストラクターとのグループワーク*)

12:40-13:00 質疑応答

13:00-13:40 昼食 (お弁当、飲物付)

13:40-13:45 臨床診断推論のための症例②提示(講義:村岡渡、和嶋浩一)

13:50-14:05 すぐできる 12 脳神経の診査法の実際(講義:大久保昌和)

14:10-14:25 神経障害性疼痛診査法解説(講義:今村佳樹)

14:30-15:10 脳神経スクリーニングおよび知覚定性検査(実習)神経障害性疼痛の診査法(実習*)

15:10-15:20 質疑応答

15:20-16:10 症例②での臨床診断推論実習(インストラクターとのグループワーク*)

16:10-16:15 総合質疑応答・講師補足

16:15-16:20 ポストテスト・アンケート

16:20-16:25 ポストテスト答え合わせ

16:25 セミナー終了予定

*実習・グループワーク講師(予定):今村佳樹、石垣尚一、大久保昌和、築山能大、原節宏、福田謙一、和嶋浩一、飯田崇